



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇根 高司  
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	34,672	△16.9	△1,827	—	△1,451	—	△753	—
2023年3月期第2四半期	41,712	5.2	436	△82.4	756	△70.6	△1,225	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 516百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △93百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△37.96	—
2023年3月期第2四半期	△61.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	122,720	56,550	44.7
2023年3月期	119,035	56,509	45.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 54,859百万円 2023年3月期 54,082百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2024年3月期	—	24.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	△8.1	△2,900	—	△2,800	—	△1,700	—	△85.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	20,652,400株	2023年3月期	20,652,400株
2024年3月期2Q	813,491株	2023年3月期	813,491株
2024年3月期2Q	19,838,909株	2023年3月期2Q	19,839,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、一部の地域を除き緩やかに持ち直しているものの、依然として地政学リスクの高まりや、原油・エネルギー価格の高止まり、各国の金融政策に伴う影響、中国経済の先行き懸念などが景気の下振れリスクとなっております。また、国内経済においても、景気は緩やかに回復し、生産は持ち直しの兆しがみられるものの、海外景気の下振れや供給面での制約、物価上昇、為替変動などのリスクに留意することが必要な情勢が続いています。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2021年度よりスタートしました第5次中期5ヵ年経営実行計画の方針（KIZUNA経営の推進とKIZUNA指標の達成）に沿った重点施策を進め、コア技術・素材を中核とした事業ポートフォリオ改革や新事業の創出などによる持続可能な地球環境と社会を実現するための取り組みに注力しております。業績面では、高付加価値製品の拡販、収益改善策に取り組んでおりますが、原材料価格やエネルギーコストが高止まりしていること、スマートフォンの販売不振などによる電子部品の需要環境低迷が継続しております。また、5月下旬から連続運転を開始した千葉アルコン製造株式会社の減価償却費の増加が収益性に大きく影響しておりますが、中長期的な成長市場の需要に応えるべく、水島工場と合わせた2拠点供給体制によるグローバル販売戦略の再構築を進め、水素化石油樹脂の安定供給と収益性の向上を図ってまいります。なお、荒川ヨーロッパ社（ドイツ）は、水素化石油樹脂の製造を2023年4月上旬に終了しましたが、販売拠点としての事業活動は継続しています。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は346億72百万円（前年同期比16.9%減）、営業損失は18億27百万円（前年同期は営業利益4億36百万円）、経常損失は14億51百万円（前年同期は経常利益7億56百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億53百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12億25百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### <機能性コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、中国における景気低迷などを背景としたスマートフォン、PC、家電の生産調整により、電子部品などの需要が低調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂はスマートフォンやディスプレイ関連分野での在庫調整の長期化により売上高は減少しました。また、印刷インキ用樹脂は出版分野の市場縮小が加速しており、売上高は減少しました。

その結果、売上高は69億37百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は1億9百万円（同66.8%減）となりました。

#### <製紙・環境事業>

製紙業界は、eコマース（電子商取引）市場の世界的な成長にともない堅調に推移していた段ボール原紙など板紙の国内需要が前下期以降低調に推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、国内での需要低迷の影響を受けましたが、海外での板紙向け紙力増強剤が堅調に推移し、収益性が改善しました。

その結果、売上高は98億83百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は3億30百万円（同43.2%増）となりました。

#### <粘接着・バイオマス事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が堅調に推移しました。自動車関連分野では生産・販売が改善しつつありますが、本格的な回復には至っておりません。このような環境のもと、当事業におきましては、ロジンや石化原料の価格の高止まりに加えて、販売が低調に推移しました。

その結果、売上高は123億93百万円（前年同期比23.0%減）、千葉アルコン製造株式会社における減価償却費が大きく影響したことから、セグメント損失は18億2百万円（前年同期はセグメント損失4億14百万円）となりました。

<ファイン・エレクトロニクス事業>

電子工業業界は、中国における景気低迷などを背景としたスマートフォン、PC、家電、HDDの生産調整により、電子部品などの需要が低調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、ファインケミカル製品および精密研磨剤が低調に推移しました。

その結果、売上高は54億19百万円(前年同期比23.4%減)、セグメント損失は3億19百万円(前年同期はセグメント利益2億23百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ36億85百万円増加し、1,227億20百万円となりました。主な要因は、建設仮勘定が16億34百万円、投資有価証券が18億25百万円増加したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が14億82百万円減少した一方、短期借入金が増加した58億27百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ36億44百万円増加し、661億70百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、565億50百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億90百万円増加し、97億77百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億18百万円の減少となりました。これは減価償却費(27億79百万円)などによる資金の増加があった一方、税金等調整前四半期純損失(15億19百万円)の計上や仕入債務(15億69百万円)の減少などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、30億円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出(33億24百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、46億77百万円の増加となりました。これは、借入金の純増(51億95百万円)が主なものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表しました2024年3月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月2日）発表の「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(参考) 「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」 (2023年11月2日公表)

2024年3月期通期業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	83,000	△1,800	△2,000	△1,800	△90.73
今回修正予想 (B)	73,000	△2,900	△2,800	△1,700	△85.69
増減額 (B - A)	△10,000	△1,100	△800	100	—
増減率 (%)	△12.0	—	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2023年3月期)	79,431	△2,907	△2,687	△4,941	△249.08

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,140	11,449
受取手形及び売掛金	23,461	24,278
電子記録債権	1,965	2,368
商品及び製品	12,609	12,679
仕掛品	1,649	1,722
原材料及び貯蔵品	9,954	9,826
その他	2,129	1,555
貸倒引当金	△110	△109
流動資産合計	62,799	63,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,628	16,520
機械装置及び運搬具（純額）	14,809	13,958
土地	4,993	5,001
建設仮勘定	2,927	4,561
その他（純額）	1,083	1,040
有形固定資産合計	40,442	41,082
無形固定資産	1,678	1,636
投資その他の資産		
投資有価証券	7,837	9,662
退職給付に係る資産	3,895	4,031
繰延税金資産	231	335
その他	322	349
貸倒引当金	△75	△79
投資その他の資産合計	12,210	14,298
固定資産合計	54,331	57,017
繰延資産		
開業費	1,904	1,930
繰延資産合計	1,904	1,930
資産合計	119,035	122,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,973	8,491
電子記録債務	1,074	1,214
短期借入金	19,645	25,472
未払法人税等	336	376
未払消費税等	67	190
賞与引当金	1,036	1,049
修繕引当金	414	429
事業整理損失引当金	1,179	951
設備関係支払手形	219	151
その他	8,167	7,245
流動負債合計	42,113	45,573
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	5,407	5,162
繰延税金負債	2,372	2,743
退職給付に係る負債	298	315
資産除去債務	2,161	2,232
その他	172	142
固定負債合計	20,412	20,596
負債合計	62,526	66,170
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	40,922	39,693
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	46,618	45,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,933	4,199
為替換算調整勘定	2,819	3,671
退職給付に係る調整累計額	1,710	1,598
その他の包括利益累計額合計	7,464	9,470
非支配株主持分	2,426	1,690
純資産合計	56,509	56,550
負債純資産合計	119,035	122,720

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	41,712	34,672
売上原価	33,915	29,527
売上総利益	7,796	5,144
販売費及び一般管理費	7,360	6,972
営業利益又は営業損失(△)	436	△1,827
営業外収益		
受取利息	11	46
受取配当金	130	115
不動産賃貸料	51	21
為替差益	558	249
その他	90	153
営業外収益合計	842	586
営業外費用		
支払利息	100	145
修繕引当金繰入額	367	-
その他	53	65
営業外費用合計	522	210
経常利益又は経常損失(△)	756	△1,451
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	59	49
特別利益合計	61	54
特別損失		
固定資産除売却損	119	121
減損損失	※1 1,573	-
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	1,693	121
税金等調整前四半期純損失(△)	△874	△1,519
法人税、住民税及び事業税	445	374
法人税等調整額	△144	△243
法人税等合計	301	131
四半期純損失(△)	△1,176	△1,650
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	49	△897
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,225	△753

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,176	△1,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△771	1,265
為替換算調整勘定	1,936	1,014
退職給付に係る調整額	△82	△112
その他の包括利益合計	1,082	2,167
四半期包括利益	△93	516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△350	1,253
非支配株主に係る四半期包括利益	257	△736

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△874	△1,519
減価償却費	1,698	2,779
減損損失	1,573	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△183	5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14	15
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△20	△133
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	-	△340
固定資産除売却損益 (△は益)	117	116
投資有価証券売却損益 (△は益)	△59	△49
投資有価証券評価損	0	-
受取利息及び受取配当金	△141	△161
支払利息	100	145
売上債権の増減額 (△は増加)	31	△726
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△944	510
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,324	△1,569
未払消費税等の増減額 (△は減少)	427	330
その他	△663	△652
小計	△290	△1,255
利息及び配当金の受取額	153	160
利息の支払額	△88	△126
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△443	△297
営業活動によるキャッシュ・フロー	△669	△1,518
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	-	316
有形固定資産の取得による支出	△2,141	△3,295
有形固定資産の売却による収入	13	5
投資有価証券の取得による支出	△128	△19
投資有価証券の売却による収入	74	51
無形固定資産の取得による支出	△33	△29
繰延資産の取得による支出	△456	△28
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	13	0
その他	△20	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,680	△3,000

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,847	5,499
長期借入れによる収入	-	391
長期借入金の返済による支出	△66	△695
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△476	△476
その他	△58	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,247	4,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	539	331
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	437	490
現金及び現金同等物の期首残高	9,250	9,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,687	9,777

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

## ※1 減損損失の内容

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

場所	用途	種類	減損損失 (百万円)
荒川ヨーロッパ社 (ドイツ ベーレン市)	製造設備	建物および機械装置等	1,573

当社グループは、概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位によって資産をグルーピングしております。

上記資産については、欧州における天然ガスおよび水素価格の歴史的な高騰や原材料事情の悪化から急速に製造コストが上昇、前期末時点で想定していた収益を見込めなくなり、荒川ヨーロッパ社における製造終了を決定したため、製造設備の帳簿価額全額を減損損失(15億73百万円)として特別損失に計上いたしました。

その内訳は、建物及び構築物1億12百万円、機械装置及び運搬具12億52百万円およびその他2億7百万円です。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、使用価値については、将来キャッシュ・フローをマイナスと見込んでいるため、回収可能価額をゼロとして算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,998	10,403	16,086	7,072	41,561	151	41,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	21	21
計	7,998	10,403	16,086	7,072	41,561	173	41,734
セグメント利益又は損失(△)	329	230	△414	223	369	18	388

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	369
「その他」の区分の利益	18
全社費用の配賦差額(注) 1	49
コーポレート研究開発費用(注) 2	△198
営業外損益(注) 3	196
四半期連結損益計算書の営業利益	436

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「粘接着・バイオマス」において、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては15億73百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,937	9,883	12,393	5,419	34,633	38	34,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	16	16
計	6,937	9,883	12,393	5,419	34,633	55	34,688
セグメント利益又は損失(△)	109	330	△1,802	△319	△1,682	16	△1,666

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,682
「その他」の区分の利益	16
全社費用の配賦差額(注) 1	227
コーポレート研究開発費用(注) 2	△193
営業外損益(注) 3	△195
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,827

- (注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。  
 2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。  
 3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。